

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県ライトセンター

指定管理者 日本赤十字社

施設所管課 障害福祉課

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	H21.11.9	H21.11.20	月報を確認 改善すべき業務はなし
11月	H21.12.9	H21.12.17	
12月	H22.1.8	H22.1.18	
1月	H22.2.9	H22.2.19	
2月	H22.3.10	H22.3.12	
3月	H22.4.9	H22.4.12	

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

施設の利用を促進し、視覚障害者の生活の質的向上を図る観点から様々な事業を提案

- ① 視覚障害者の読書環境をなお一層改善し、個人利用を積極的に推進するための情報提供事業を実施
- ② 視覚障害者の生活に必要なスキルを身につけるための指導訓練事業を実施
- ③ 視覚障害者の多様化するニーズに対応するため、ボランティア育成事業を実施
- ④ 視覚障害者のスポーツを促進し、スポーツ施設の有効利用を図るためにスポーツ振興事業を実施
- ⑤ 視覚障害者に対する理解を促進するための普及啓発事業を実施

<実施状況>

- ① 9月～ 弱視者向けにライトセンターだより(月刊誌)墨字雑誌の拡大文字版の製作
- ② 2月保護者教室の実施(参加者10名)、1月及び3月に技術講習会としてIHクッキング教室(参加者10名)、らくらく料理教室(参加者6名)を実施
- ③ 10月～3月 ボランティア育成事業を実施(ボランティア養成講座、技術研修及びボランティア団体の指導)
- ④ 10月にスポーツ講演会(フリークライミングの楽しみ方 参加者14名)の実施、3月にヨガ・ピラティス体験教室(参加者44名)を実施
- ⑤ 11月にライトセンターフェスティバルを開催、学校での一日移動ライトセンターを初実施

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

		収 入 額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	353,445	353,445			352,855	590
上半期計 (a)	168,818	168,818	()		158,956	9,862
下半期計 (b)		184,627	()		193,899	7,905
10月		33,641	()		25,839	7,802
11月		23,475	()		24,540	△1,065
12月		53,857	()		47,329	6,528
1月		23,476	()		24,075	△599
2月		23,478	()		26,172	△2,694
3月		26,700	()		28,767	△2,067
出納閉鎖期					17,177	△17,177
合計 (a+b)		353,445			352,855	590

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

予算額に比し執行率は105.0%である。
 収支差額は±10%以内に抑えられており概ね妥当である。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首) (期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数		前年同月利用者数		前年対比増減率	
	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用	図書貸出数	施設利用
上半期計 (a)	21,526	25,634 人	18,704	24,306 人	15.1%	5.5%
下半期計 (b)	22,367	23,843 人	19,633	23,957 人	13.9%	△0.5%
10月	3,820	4,122 人	3,356	4,398 人	13.8%	△6.3%
11月	3,370	4,048 人	3,043	4,276 人	10.7%	△5.3%
12月	4,411	3,656 人	3,769	3,575 人	17.0%	2.3%
1月	3,577	3,815 人	3,148	3,470 人	13.6%	9.9%
2月	3,294	3,818 人	3,111	4,252 人	5.9%	△10.2%
3月	3,895	4,384 人	3,206	3,986 人	21.5%	10.0%
合計 (a+b)	43,893	49,477 人	38,337	48,263 人	14.5%	2.5%

利用状況に関する意見等

（半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。）

（上半期から引き続き、図書貸出数については、デジジー図書の貸出し数の伸び(前年比126.8%)が顕著となっている。）

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月						
11月						
12月						
1月					1	1
2月	1					1
3月		1		2		3

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月	1		1
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

（類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者により評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。）

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特になし	
職員対応	・特になし	
事業内容	・特になし	
その他	・特になし	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	特になし		
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ライトセンターフェスティバルを開催し、前年を上回る来場者を得たが、神奈川県ライトセンターをアピールするため、日頃の広報・啓発にもさらに力を入れなければならない。ライトセンター事業の安定的推移は、いかに多くの理解者を得るかにあると考える。 ・利用者からより高い評価と信頼をいただけるよう日々の業務に取組み、視覚障害福祉をさらに前進させたい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・年度協定における事業計画に基づき、着実に事業が行われており、弱者へのさらなる情報提供を図るために、ライトセンターだよりの拡大文字版の発行や、学校と連携し視覚障害理解のための移動ライトセンターを教育現場で実施するなど、利用者への取組みや視覚障害福祉の普及への工夫が見られる。 ・録音図書・雑誌のデジタル化にも積極的に取組み、録音図書においては新規製作分の全タイトルをデジタル化するなど、全国的に最も多い種類の製作・発行に取り組んでいる。 ・今後においては、視覚障害福祉の向上のため情報提供や支援を充実させていくことを期待する。